

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

三重県 大台町

自治体名：三重県大台町

担当課名：生涯学習課

電話番号：0598-82-3791

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	362.9 km ²
人口	8,172 人
公立中学校数	2校
公立中学校生徒数	181 人
部活動数	9 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	大台町部活動地域移行推進協議会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向け準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

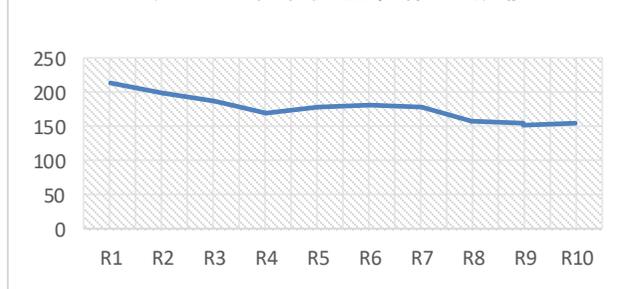
大台町内には2つの中学校があり、それぞれ149名、32名の生徒数である。年々生徒数が減少傾向である中学校で部活動を存続していくのは困難であり、廃止となる部活動も少なくない。大台町部活動地域移行推進協議会を設置し、現在、実施している実証事業を行い、課題、問題点を洗い出しながら、他の種目の地域移行についても検討していく必要がある。

部活動では、専門以外の種目を担当することもあるが、地域移行することにより、質の高い専門的な指導を受けることができる。さらに、質の向上、危機管理、ハラスメントへの対応のため、競

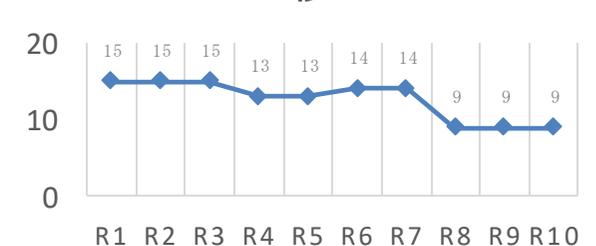
技団体等が主催する研修会への積極的な参加を推進する必要がある。

部活動と比較すると、地域移行の取組の方が保護者の費用負担が増える。そのため、町として、財政面での支援が必要である。

大台町内中学校生徒数の推移



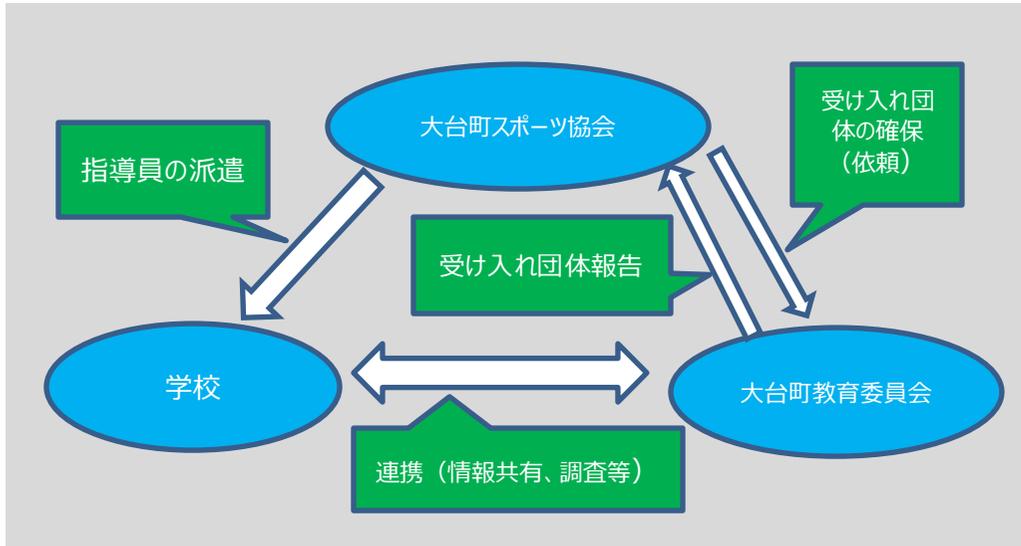
中学校における部活動数の推移



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会 子ども教育課

- ・中学校、中学校部活動との調整
- ・保護者、教員へのアンケートの実施
- ・大台町部活動地域移行推進協議会の開催

◎教育委員会 生涯学習課

- ・各種スポーツ団体との調整
- ・指導者の確保
- ・財源の確保

年間の事業スケジュール

令和6年5月	地域スポーツクラブ開始
令和6年6月	教員への聞き取り調査
令和6年8月	地域指導者への聞き取り調査
令和6年10月	地域指導者への聞き取り調査
令和6年11月	第1回推進協議会開催
令和6年12月	スポーツ少年団へ意見聴取
令和7年1月	スポーツ協会へ意見聴取
令和7年2月	事業完了報告書の作成
令和7年2月	成果報告書の作成

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（1部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	1人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ソフトテニスクラブ	大台町ソフトテニス協会	ソフトテニス	月6回程度	午前中	1年生7名 2年生2名 3年生3名	5月～2月	大台中学校テニスコート	1人	1人	年会費 1,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

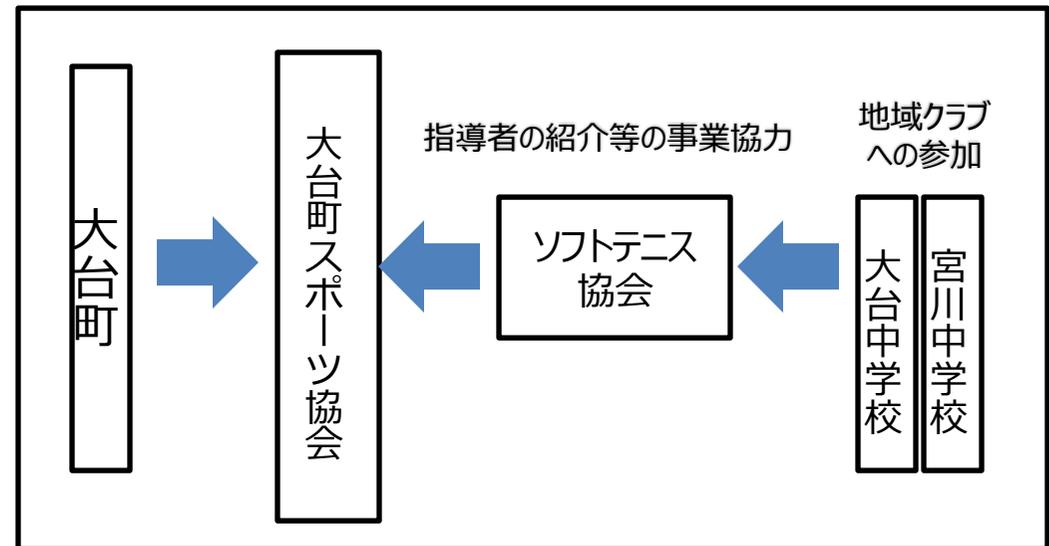
2.実証内容と成果

主な取組例

●ソフトテニスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	大台町ソフトテニス協会
期間と日数	5月～2月（6回/月程度）
指導者の主な属性	スクールサポートスタッフ
活動場所	大台中学校テニスコート
主な移動手段	保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	年額1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

指導員と学校顧問等と連携を密にとり、部活動を安全かつ計画的に実施できるよう発生した課題の把握・対応をし、持続可能な体制整備づくりを行う。

大台町部活動地域移行推進協議会を設置し、町スポーツ協会、町スポーツ少年団、スポーツ推進員、他市町関係団体との連絡調整、指導助言を行う。

取組の成果

大台町教育委員会、大台中学校、部活動指導員が密に連携をとり、常日頃から取組内容について情報共有を図った。

指導員が平日は大台中学校のスクール・サポート・スタッフとして勤務していることもあり、関係者との連絡調整体制が整っている。

今後の課題と対応方針

地域移行する際の指導者不足を解消するため、大台町部活動地域移行推進協議会で検討した事項について、スポーツ協会やスポーツ少年団等と協議を重ね、人材の確保を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等の資格の取得を推進する。
町スポーツ協会等との連携を強化し、人材の確保に努める。

取組の成果

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得のための働きかけを行った。また、三重県スポーツ協会等が主催する研修会等の情報提供を行ったが、参加には至らなかった。

町内で指導者を増やすことにより、大台町スポーツ協会主催の研修会を実施するなどの工夫をし、より質の高い指導ができるように研修に参加しやすい環境を作っていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

町スポーツ協会、町スポーツ少年団、スポーツ推進員及び行政で組織する大台町部活動地域推進協議会を設置し、連携の強化を図った。

また、個々の会議に出席し、今後の指導者の確保や取り組みについて協議を行った。

取組の成果

大台町スポーツ協会には、町スポーツ少年団、スポーツ推進員も所属しており、これまで同様に連携強化を図った。部活動地域移行については、スポーツ少年団で育成した選手が中学校に進学したらどうなっていくか不安の声もあり、関係団体への情報提供も含め、地域移行へのイメージを持ってもらえる取組が必要と感じた。

今後の課題と対応方針

部活動推進協議会を設置したことにより、学校、各種団体、行政との連携がスムーズに行えるようになったため、更に連携を強化し、指導者の確保や、様々な課題について協議していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

生徒の減少により、団体競技ではチームが成立しないことも想定される。地域移行することにより、学校の枠を超えた活動ができ、生徒も確保しやすくなる。

取組の成果

大台町ソフトテニス協会には、大台中学校だけでなく、同じ町内にある宮川中学校の生徒も参加しており、町内全域の取組として実施することができた。地域移行していないスポーツについては、スポーツ少年団の活動を通じて、町内のみの活動ではなく、広域的な活動となっている。

今後の課題と対応方針

生徒の減少により、次年度に4つの部活動が廃止となる。廃止後、地域移行をした場合でも団体競技ではチームを存続するのは困難であり、広域的な取組を進める場を作る必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保を行うため、なるべく多くの種目が地域移行できるよう検討していく。

取組の成果

現在は、ソフトテニスだけの地域移行ではあるが、他のスポーツ競技からも地域移行への相談があった。大台中学校では、部活動の廃止が決定している競技もあり、保護者等と協議を行った。さらに、保護者や関係者の不安をなくすためにも、どういう活動になっていくかの方針を決め、スポーツに親しむ機会の確保に努めていく必要性を感じた。

今後の課題と対応方針

部活動にない種目についても、指導者から地域部活動、地域クラブとして活動をしたいという要望もでているため、今後新しい種目については検討していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

保護者への負担が大きくなるため、大台町部活動地域移行推進協議会内で補助金等の財源を検討していく。

取組の成果

大台中学校の部活動が行われる時は、スクールバスを活用し、地域部活動に参加することができ、保護者の負担軽減を図った。

現在は、ソフトテニスのみ地域移行であるが、競技により、費用の負担が変わってくるので、検討の必要性を感じた。部活動と比較すると参加者の費用負担が増えることも想定されることから、自治体としての支援方法の示していく必要性を感じた。

今後の課題と対応方針

活動に対して費用負担軽減は行っていない。地域移行がスムーズに進むために、スポーツ協会から地域クラブ団体への補助金の創設など自治体が支援できる体制を検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

学校の施設・設備・備品等を使用する。また、町体育施設を使用する際は、減免とし、財政面での負担軽減を図る。

取組の成果

大台中学校テニスコートを活用し、地域部活動を実施することができた。また、雨天時には、学校体育館や町内体育施設を利用した。町内体育施設の使用にあたっては、使用料を減免し、財政面の負担軽減を図った。

今後の課題と対応方針

学校施設の利用については、大きな課題もなく、引き続き、活動がスムーズにできるよう連携を密にしていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

実証事業として、大台中学校のソフトテニスの部活動に対して土日祝の活動の地域クラブ活動への移行を行った。

月4～6回程度、練習指導や大会引率を地域指導員が行うことにより、教員の負担の減少を図った。

●成果の評価

土日祝日の活動に対して、地域指導員が指導、引率を行うことにより、教員の負担軽減につながった。

また、地域クラブとして活動することにより、中学校の枠を越えた交流を図ることが出来た。

●今後に向けて

ソフトテニス以外の競技に関して、指導者の確保や活動内容、課題の洗い出しなどを行っていき、全部活動の地域移行に向けて大台町部活動地域移行動推進協議会を中心に取り組んでいく。後には、町スポーツ協会を活動主体とし、補助を行っていきながら地域へ段階的に移行していく。

部活動顧問の教員への聞き取り調査

●教員からの声

- ・特に大会へ参加の際は、大会役員等で忙しいため地域指導者が生徒の引率を引き受けていただけるとありがたい。
- ・教諭としては、放課後の時間は部活動顧問ではなく、翌日の授業準備などに充てることが望ましい。
- ・ほとんどの生徒が社会体育にも参加していることもあり、移行に関してはスムーズに行える部活動が多いのではないかと。
- ・2校の中学校間の距離が少し遠いため、合同練習の環境を整えるのが困難。
- ・社会体育への参加は、送迎に関して保護者への負担が大きい。
- ・担当顧問に経験や知識が無いため、知識が豊富な専門の指導者に指導してもらった方が生徒にとっては良いのではないかと。
- ・やる気のある生徒は地域クラブ、楽しみたいという生徒は部活動というすみわけもありではないかと。

参考資料（活動写真）



【指導している様子】



【大会引率】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年

地域クラブ活動
の開始

- スポーツ協会との調整
- 学校との調整
- 指導者の確保

●経過

地域移行前から大台町ソフトテニス協会では、小学生、中学生を対象としたソフトテニス活動を実施。地域移行実施にあたり、学校とソフトテニス協会が協議をし、地域移行実施に至った。

●実施にあたって生じた課題

既存の組織があり、大きなトラブル、課題もなく、スムーズに地域移行の実施となった。

●実施内容

拠点施設である大台中学校テニスコートでの基礎練習、応用練習。対外試合の実施。対外試合を通じて、個々の課題を洗い出し、課題克服に向けて活動を実施。

令和5年

地域クラブ活動
の継続

- 大台町部活動地域移行推進協議会の設置
- 地域移行拡大に向けて、スポーツ協会等での情報共有
- 地域移行に向けての課題の洗い出し
- 指導者の確保及び質の向上

●取組内容

ソフトテニスについては、基盤があり、スムーズに移行できたが、基盤のない競技について、地域移行を進めるための協議を進めていく。

令和6年

地域クラブ活動
の継続

令和7年

地域クラブ活動
の拡大

- 大台町部活動地域移行推進協議会の設置
- 地域移行拡大に向けて、スポーツ協会等での情報共有
- 地域移行に向けての課題の洗い出し
- 指導者の確保及び質の向上

●取組内容

中学校で部活動が4クラブ廃止となる。地域移行の必要性も含めて、協議を進める。

令和8年

地域クラブ活動
の拡大

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

大台町教育委員会 部活動改革スケジュール（案）

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
教育委員会 (生涯学習課)	ソフトテニス（2024年度まで実証事業）					地域クラブ化 (運動部活動)
				大台町部活動 地域移行推進 協議会設置	軟式野球・バレー ボール・剣道・卓 球	
教育委員会 (子ども教育課)					教員への説明 保護者への周知 指導者の確保	地域クラブ化 (運動部活動)
				生徒の減少に伴う段階的な部活動の廃止 軟式野球・バレーボール・剣道・卓球 ※外部指導員の活用		

自治体の課題、現状

大台町内には2つの中学校があり、年々生徒数が減少傾向である中学校で部活動を存続していくのは困難で、廃止となる部活動も少なくない。大台町部活動地域移行推進協議会を設置し、課題、問題点を洗い出しながら、他の種目の地域移行についても検討していく必要がある。

部活動では、学校教職員が専門以外の種目を担当することもあるが、地域移行することにより、質の高い専門的な指導を受けることができる。さらに、質の向上、危機管理、ハラスメントへの対応のため、競技団体等が主催する研修会への積極的な参加を推進する必要がある。

部活動と比較すると、地域移行の取組の方が保護者の費用負担が増える。そのため、町として、財政面での支援が必要である。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	181人
域内の部活動数	9部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	大台町ソフトテニス協会		
主な種目	ソフトテニス		
平均的な活動回数	5～6回/月	年間平均参加生徒実数	3年：3人 2年：2人 1年：7人
参加会費	1,000円/年	主な活動場所	大台中学校

地域移行関連の取組、成果

・指導者が平日は大台中学校のスクール・サポート・スタッフとして勤務をしていることもあり、中学校の部活動への参加する機会があり、学校部活動と地域部活動の連携がスムーズに取れた。

運営体制図

